

県共同募金会からの
お知らせ



☎ 099 (257) 3750
URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

じぶんの町を良くするしくみ 赤い羽根共同募金に感謝しています。

共同募金の助成を受け、事業を行った団体等から寄せられた
「ありがとうのメッセージ」の一部を紹介します。

水耕栽培用ビニルハウス整備 ワークショップはやと(霧島市)



当施設では、野菜や椎茸の栽培などを行っています。今回、共同募金の助成をいただき、水耕栽培用のビニルハウスを増設することができました。

おかげさまで、冬場の野菜出荷数を確保し、継続的な販売出荷先も増え、売り上げの向上につながっています。これからも売り上げの増加、利用者の工賃アップをめざし、より良い出荷先を確保するため、職員一同積極的に取り組んでいきたいと思っています。ありがとうございました。

機関誌・パンフレットの作成 日本リウマチ友の会鹿児島支部

リウマチ友の会鹿児島支部は、関節リウマチの患者・家族、専門医等により昭和56年に設立されました。県下のリウマチ患者に向けて正しい治療の啓発を行い、ひとりでも多くの患者さんに元気になっていただきたく活動しています。

今回助成をいただき、カラーの機関誌と生活を便利にしてくれる自助具のパンフレットを作成することができ、会員の皆様にも好評です。これからもリウマチの正しい治療啓発のため活動してまいりたいと思います。



座椅子のおかげで…

鹿児島市松元下自治公民館



「年に一度くらいは公民館でゆっくり昔話でも…」と思っても畳に座っての姿勢は辛くて、ついつい足が遠のいていました。でも今年は「座椅子があるのよ。」との知らせを受け、出かけてみました。

「パイプ椅子の高さは、立ち方は楽ですが不安定。でも座椅子は安定していて膝も痛くなかったよ。」

足が遠のきかけていた高齢者の方々から喜びの声がたくさん聞かれました。おかげさまで家に閉じこもりがちの高齢者が外に出かけるきっかけにもつながり、会への参加率もアップしました。ありがとうございました！

認知症への理解と支援を （やすらぎ会）

世界アルツハイマーデー（9月21日）にちなみ、昨年9月に鹿児島市と霧島市で街頭活動を実施しました。啓発リーフレットを道行く人達へ配布し、認知症への理解と本人・家族への支援を求めました。

また、認知症フォーラムでは、認知症の人の思いを理解するための基礎知識についての講演会、パネルディスカッションでの介護体験発表などが行われ、県内各地から、医療・介護福祉の関係者や介護家族など三百名が参加し熱心に耳を傾けていました。

認知症は誰もがなり得る身近な問題で、高齢化が進む今日では大きな社会問題となっています。街頭活動とフォーラムは、認知症への理解と支援を広く社会に訴える機会になりました。県民の皆様の善意による共同募金の助成を活用させていただいたことに心より感謝いたします。

